




ごみの分別と出し方


日本ではごみの分別やごみを出す日・時間・場所が決まっています。自分たちの住むまちを綺麗にするため、自治体でごみ捨てのルールを決めています。地域に住む方々が協力し合いながら自分たちの地域を綺麗にして住みやすくしています。




 ブラジルにもごみの分け方や出し方のルールはありますが、日本のような細かいルールはありません。資源ごみとそれ以外のごみ程度の分別しかありません。

 ベトナムではごみの分別をあまりしません。もえるごみは全て1種類のごみとして認識しています。カン・ビン・ペットボトルは買取業者に出すため、色んな種類のごみがあまり混ざりません。

 ペルーでは毎日ごみ収集車が来るため、ごみを家の前に毎朝捨てます。


 フィリピンでは場所によってはごみの分別はなく、指定のごみ袋もありません。

 中国には日本のような細かなごみ捨てのルールはありません。地域によっては分別ルールがなく、いつ収集されるかわからない地域もあります。

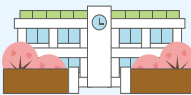
教育


日本の学校では給食・集団登校・掃除が毎日あります。子どものうちから集団行動を行い、協調性を身につけています。




 ブラジルの学校では給食・集団登校・掃除がありません。授業が午前・午後・夜間の3つの時間帯に分かれており、午前だけあるいは午後だけ学校に来る生徒がいます。

日本は中学校まで義務教育であり、留年することは減多にありません。



 ペルーでは学校の成績が悪いと留年するため、小学校1年生から勉学に励みます。

 フィリピンの義務教育は日本と異なり、小学校でも留年があります。

伊勢崎市多文化共生キーパーソンの紹介・活動の紹介



相沢 正雄さん



朝倉 平さん



竹原 ドラさん



田村 真里留さん



本堂 晴生さん



山本 雄次さん



若林ヤスイエリさん

認定者7人（認定日 令和3年2月22日）

【主な活動実績】

- 令和2年度
新型コロナウイルス感染症啓発動画の作成
- 令和3年度
第1回多文化共生キーパーソン会議
第2回多文化共生キーパーソン会議
第3回多文化共生キーパーソン会議
市長とキーパーソンとの座談会
- 令和4年度
第1回多文化共生キーパーソン会議
第2回多文化共生キーパーソン会議(書面)
第3回多文化共生キーパーソン会議(書面)



みんなで作ろう 伊勢崎市多文化共生のまちづくり



多文化共生とは

多文化

様々な文化や個性を持つ人々

共生

共に生きる

「様々な文化や個性を持った人々がお互いの違いの大切さを認め対等な関係を築きながら共に生きていくこと」です。このリーフレットが、多文化共生のはじめの一歩として、お互いを知るきっかけになれば幸いです。

日本と各国の生活習慣の違いを知って、お互いの理解を深めましょう

様々な国籍の住民が住んでいる伊勢崎市において、日本と各国の生活習慣の違いをお互いが知ることで、地域のトラブルを未然に防ぐことを目的としてこのリーフレットを作成しました。

令和3年2月に認定した伊勢崎市多文化共生キーパーソンの7人の意見をもとに伊勢崎市国際交流協会国際ボランティアにも協力していただき、まとめたものです。

外国人のみなさんは、日本の生活習慣をこのリーフレットで知っていただき、日本の生活ルールを守りながら生活していけるようにしましょう。

【このリーフレットで取り上げている国々】



日本



ブラジル



ベトナム



ペルー



フィリピン



中国








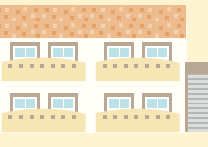


その他

ポルトガル語・スペイン語・ベトナム語・英語・中国語に翻訳されたリーフレットもありますので、必要な場合はお問い合わせ先までご連絡ください。





発行日：令和5年3月31日 発行：伊勢崎市 市民部国際課（伊勢崎市今泉町二丁目410番地）

【お問い合わせ先】 TEL：(0270) 27-2731 FAX：(0270) 23-9800



日常の過ごし方と習慣

<p>日本では相手への思いやりを大切に、大きな音を出すことは周りの人に迷惑が掛かると考えます。特に早朝や夜中に大きな音を出すことはとても注意しています。</p> 	<p>家族や仲間が集まり、夜遅くまでパーティーやおしゃべりを楽しむ習慣があります。家族や親族、仲間と過ごす楽しい時間をとても大切にします。</p> 
<p>バーベキューは公園などで行い、タバコの喫煙は喫煙所で行います。においや煙で他の人に迷惑をかけないように注意しています。</p> 	<p>どこでもバーベキューやタバコの喫煙をすることがあります。また、どの場所でも食べ物を食べながら歩くことがあります。においなど自分も周りもあまり気にしません。</p> 
<p>日本では引越しをしたら隣近所や区長さんにあいさつ回りをします。地域に自治会などのしくみがあり、お互いに助け合っています。</p> 	<p>ブラジルなどでは、引越しをした時に最初にあいさつ回りをするのはなく、次第に近所付き合いが始まります。</p> 
<p>日本では温泉などでタトゥーをしている人の出入りを禁止している場所があります。</p> 	<p>タトゥーは一般的でファッションの1つだとされています。</p> 



国民性

<p>日本人の多くは、時間をしっかり守ります。遅刻すると周りに迷惑をかける意識があります。</p> 	<p>日本人に比べて時間に対しておおらかな人が多く、時間をゆっくり使います。</p> 
<p>災害時の物品の支援を受ける時などに、無料で数に制限がなくても他の人ももらえるように考えながら受け取ります。</p> 	<p>できるだけ多くの物品を受け取ろうとすることがあります。ペルーでは社会的な支援制度が確立されていないため、継続的な援助がなく、最初で最後の支援だと考えるからです。</p> 


マナー

<p>食事の際、出てきた料理を残さず食べることが、作ってくれた人やふるまってくれた人への感謝を示すことであるという意識があります。</p> 	<p>食事の際、食べ残すことがよくあります。食事に招待された側は料理を少し残すことが礼儀であるとされています。</p> 
---	---




コミュニケーション

<p>日本人は静かに過ごしたいと思う人に大きな声を出して邪魔をしてはいけないと考える傾向があります。そのため、比較的声がかさめず、また、日本語は物静かでわかりやすい印象を与えるようです。中には、話している内容が聞かれてしまい、恥ずかしいと感じる人もいます。</p> 	<p>日本人より声の大きい傾向があります。声の大きいことは元気で良いことだと子どもの頃から教えられる育ちます。大きな声でも周りを気にせず、周りも気にしません。</p> <p>小さな声だと細かいところまで聞こえにくく、自然と自分の声が大きくなる傾向にあります。</p> <p>中国語には色々な種類の方言があり、正しく発音するため大きな声を出す必要があります。</p>
<p>日本人は自分の考えや意見を直接言うことで相手を不快にさせてしまわないように、物事を遠回しに言うことがあります。敬語や丁寧語など、相手への気持ちや敬意をととても大事にする言葉遣いがあります。</p> 	<p>公用語であるポルトガル語に敬語などはなく、はっきりと物事を言います。相手のことを気にすることなく物事を言い、相手の意見も言葉のまま受け止めます。</p> <p>不公平なことがあれば自分の考えを直接言います。</p> <p>相手に遠慮することはなく物事ははっきり言います。</p>

暮らし・地域

<p>日本には住んでいる地域ごとに自治会があり、自治会は住んでいる地域を自分達で良くしようとする組織です。自治会は住んでいる人から会費を集めて、地域のお祭りや清掃活動、防犯活動などをおこなっています。自治会の活動に参加して、近所の住民と顔見知りになることで、災害時など困ったときに助け合える関係をつくっています。</p> 	<p>ブラジルにも地域に自治会がありますが、自治会に入ることや活動に参加することなどに強制されることはありません。参加するかしないかを自分で選ぶことができます。</p> <p>中国にも地域に自治会がありますが、自治会の職員として地域の美化や安全のために働いている人がいます。地域の会費が職員の給料になっています。</p>
--	--

交通

<p>道が狭いところが多く、複数人で並列して歩くと別の歩行者や運転者との交通トラブルになりやすいです。また、車道に出してしまうことがあり危険です。</p> 	<p>複数人で並列して歩くことがあります。フィリピンの道は比較的幅が広いです。</p> 
<p>迷惑にならないように交通ルールを守ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本のほとんどの道路や住宅街では路上駐車をしてはいけません。 日本では自動車の車検を受けなければ公道を走れません。 日本では自動車の交通事故が起きた場合のために、必ず加入しなければならない自賠責保険のほか、ほとんどの人が任意保険も加入しています。 	<p>交通ルールより個人の主張が強い場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 路上駐車が認められている国や地域があります。 国によって自動車の車検が義務化されています。日本と同じく、車検を受けなければ罰則や罰金が課されます。 国によって強制的に加入する自動車保険があります。任意保険は保険料が高いことや、必要と感ぜない人が多いことから、加入する人が少ない国もあります。 